

2022年12月期 第3四半期決算説明資料

2022年11月11日

株式会社ツバキ・ナカシマ

(証券コード6464 東証プライム市場)



TRANSFORM NEXT2023

Precision for a Changing and Sustainable world

精密加工技術で社会環境の変化・持続可能な社会に対応
していきます

FY2022 第3四半期業績ハイライト

売上は4四半期連続で増収の一方、利益率は回復半ば

売上

- 売上収益：584億円。前年同期比+5.0%※
- 成長戦略：セラミックは9四半期連続で増収。アジア&メディカル分野を含めた3分野の売上収益は100億円超え（107億円）

利益

- 営業利益：26.6億円。前年同期比▲52.5%※
- 原材料およびエネルギーコストの更なる高騰の影響が主因で利益率は4.6%に留まる

配当

- 期末配当は、17円/株を予定
- 年間配当額は、中間配当13円/株とあわせ、30円/株の予定

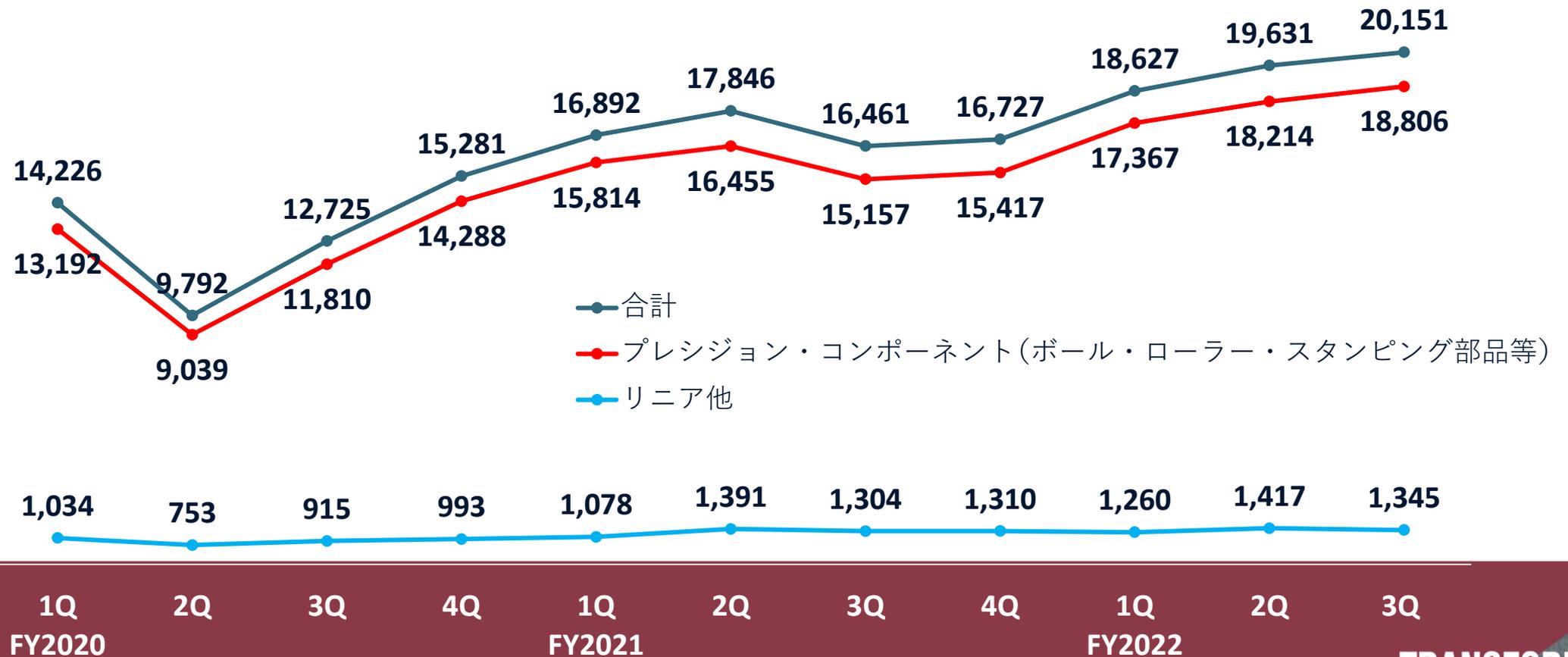
※ “増減比”は為替影響を除く

TRANSFORM
NEXT2023

四半期 連結売上収益推移

プレジジョン・コンポーネント売上収益：前年同期比24.1%増、前四半期比3.3%増
リニア他の売上収益：前年同期比3.1%増、前四半期比5.1%減

(百万円)

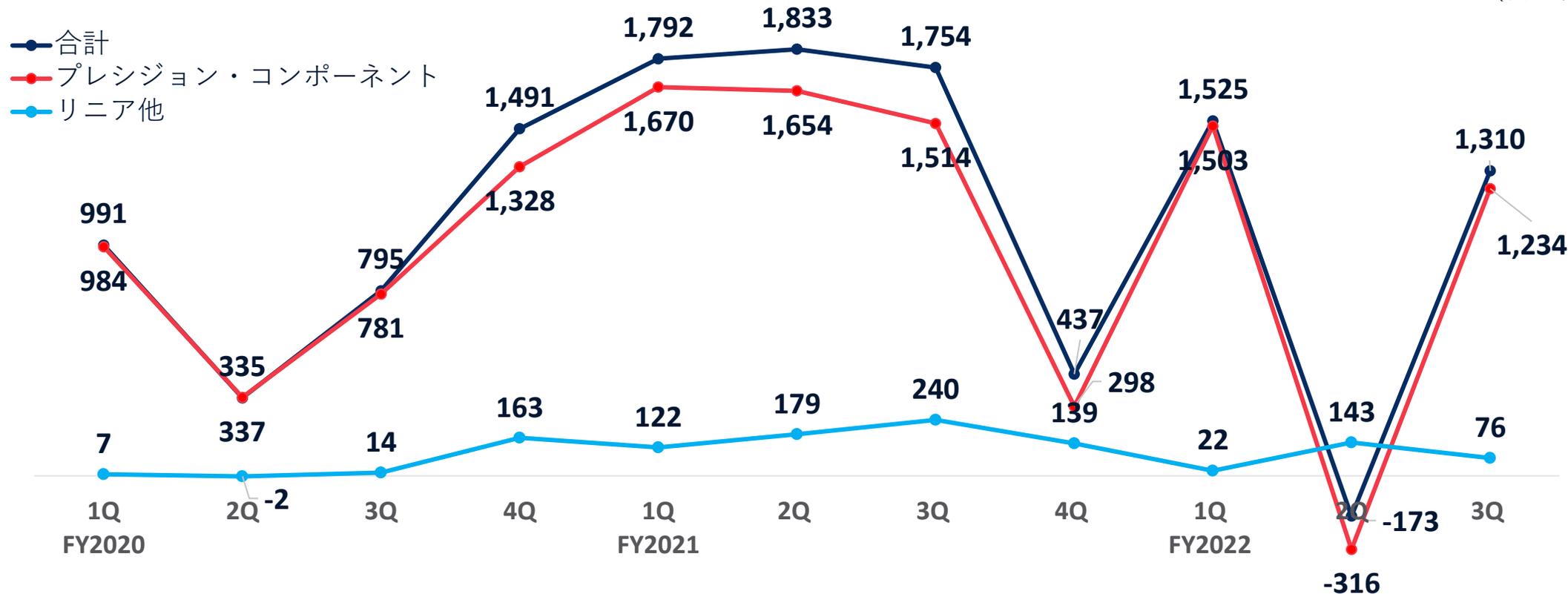


四半期 連結営業利益推移

プレジジョン・コンポーネント営業利益：前年同期比18.5%減

リニア他の営業利益：前年同期比68.3%減、前四半期比46.9%減

(百万円)



FY2022 第3四半期連結業績（前年同期比）

売上収益（除為替影響）：前年同期比+5.0%

営業利益（同）：同▲52.5%

	FY2021	FY2022			
	3Q累計	3Q累計			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
売上	51,199	58,409	4,658	2,552	5.0%
営業利益	5,379	2,662	108	▲ 2,825	▲ 52.5%
対売上(%)	10.5%	4.6%	—	—	—
（ご参考）営業利益 ^{※2}	5,379	5,068	475	▲ 786	▲ 14.6%
対売上(%) ^{※2}	10.5%	8.7%	—	—	—
EBITDA	7,912	5,401	331	▲ 2,842	▲ 35.9%
税前利益	4,835	2,974	1,043	▲ 2,904	▲ 60.1%
当期利益	3,352	1,494	742	▲ 2,600	▲ 77.6%

(百万円)

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

※2 “構造改革費用（2,406百万円）”を除く

FY2022 第3四半期セグメント・地域別売上（前年同期比）

	FY2021	FY2022			
	3Q累計	3Q累計			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
グループ連結	51,199	58,409	4,658	2,552	5.0%
プレジジョン・コンポー ネントセグメント ^{※2}	47,426	54,387	4,545	2,416	5.1%
日本	9,545	10,040	—	495	5.2%
北米	9,641	11,156	1,743	▲ 228	▲ 2.4%
欧州	17,440	20,391	897	2,054	11.8%
中国	9,417	10,676	1,565	▲ 306	▲ 3.2%
アジア（除中国）	1,387	2,128	340	401	28.9%
リニア他セグメント	3,773	4,022	113	136	3.6%

（百万円）

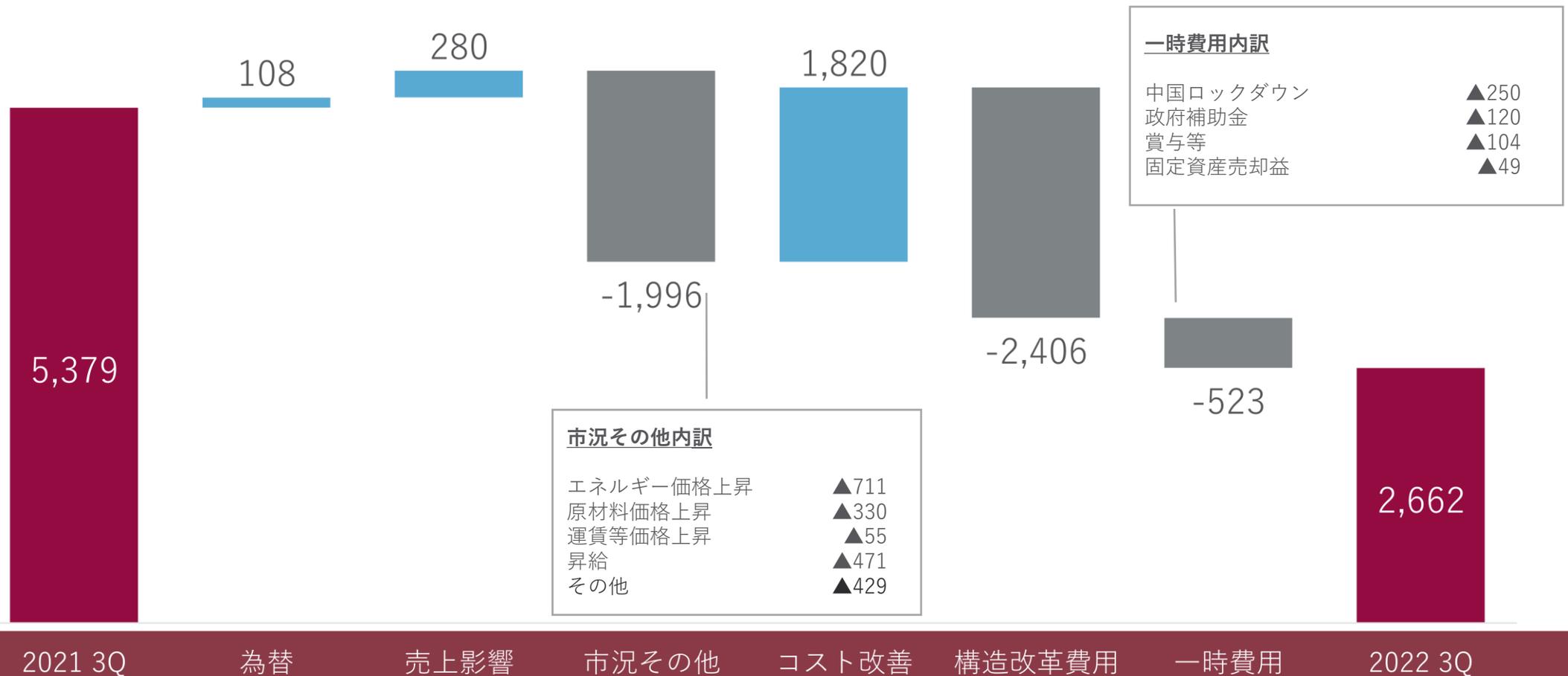
※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

※2 セグメント間収益を除く

FY2022 第3四半期営業利益増減要因（前年同期比）

売上増加の一方、原材料価格およびエネルギーコストの大幅な高騰、構造改革費用等の一時費用等により、対前年同期比営業利益は50.5%減の2,662百万円

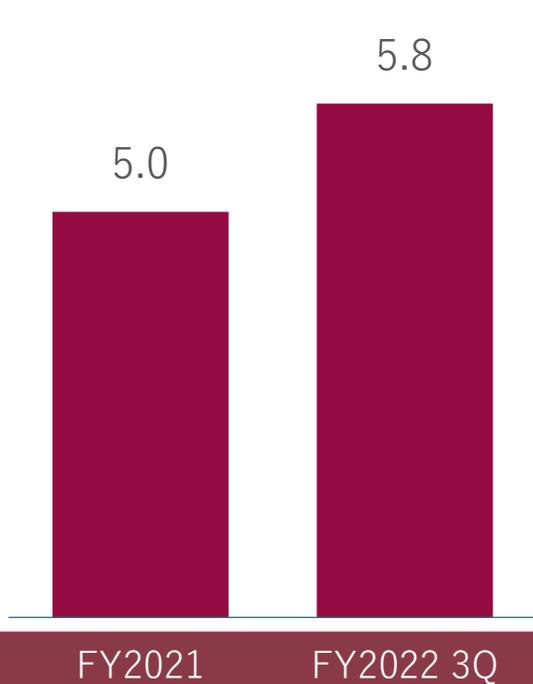
(百万円)



BS及びCF

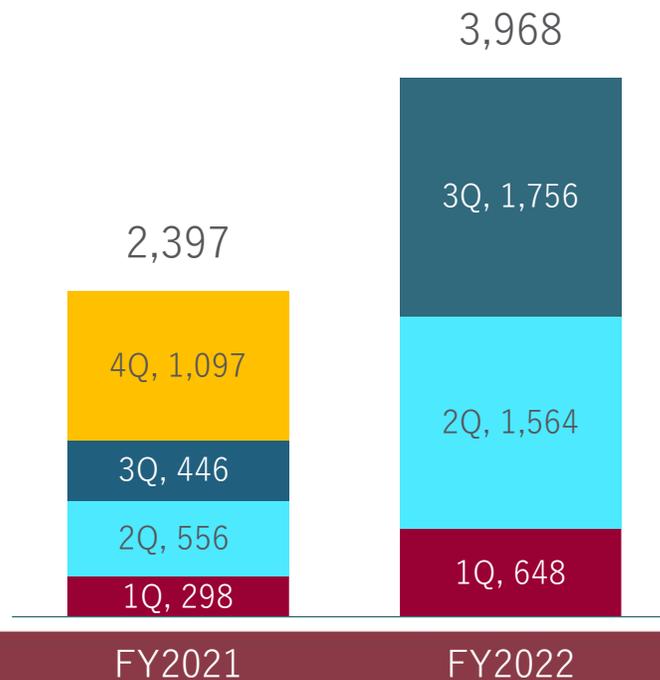
棚卸資産回転月数(月)

第4四半期以降の販売見込みに対する備蓄在庫増



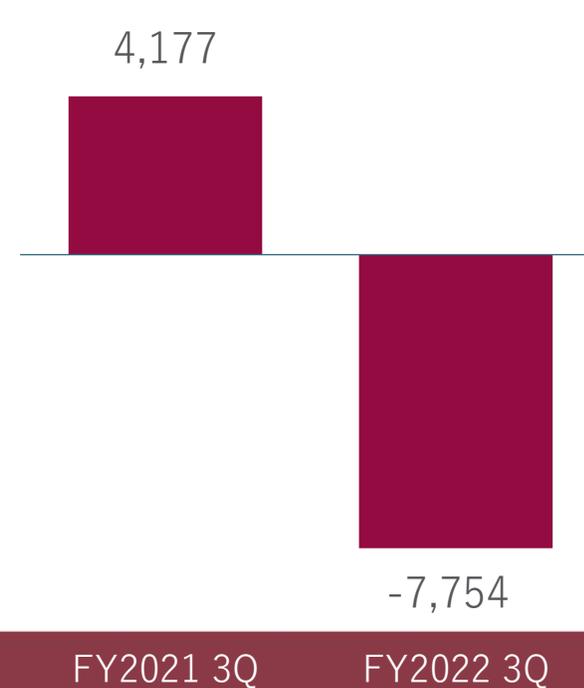
設備投資額(百万円)

成長に向けた設備投資を推進中



フリーキャッシュフロー(百万円)

成長に伴う在庫、設備投資増



成長戦略（FY2022 第3Q迄）

3Qもセラミックボールが成長戦略を強かに牽引

(百万円)

セラミックボール

メディカルデバイス

アジア地域での拡販

(除く中国、セラミック)

YoY +436
+23.2%

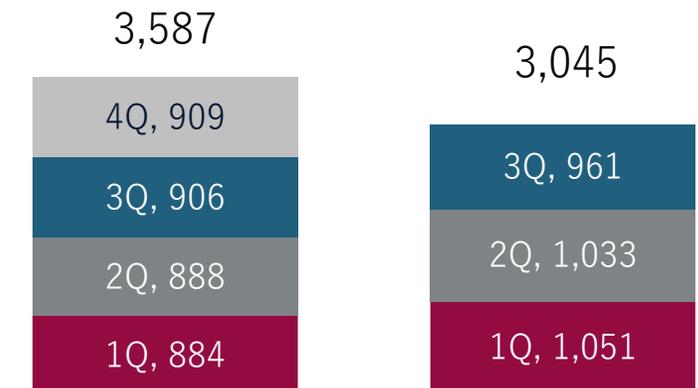
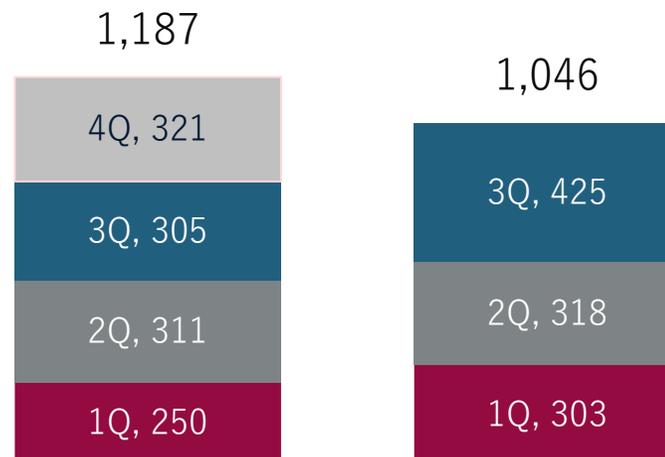
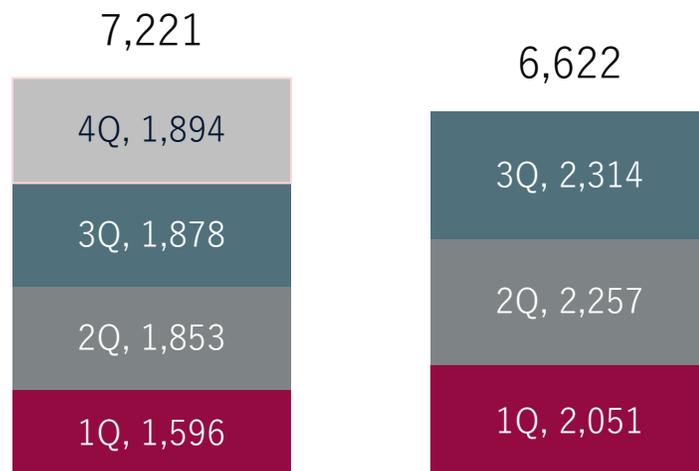
QoQ +57
+2.5%

YoY +120
+39.3%

QoQ +107
+33.6%

YoY +55
+6.1%

QoQ ▲72
▲7.0%



FY2021

FY2022

FY2021

FY2022

FY2021

FY2022

TRANSFORM
NEXT2023

2022年12月期業績予想の修正

原材料等の高騰に対する価格転嫁ならびに円安効果により売上は当初予想を上回る一方、原材料およびエネルギーコストの更なる高騰の影響等により、利益は当初予想を下回ると予想。配当については、前回予想値（期末配当17円/株、年間配当30円/株）と変わらず

(百万円)

	当初 見通し	修正後	増減額	増減比
売上収益	77,000	78,000	1,000	1.3%
営業利益	5,650	4,100	▲ 1,550	▲ 27.4%
税引前当期利益	4,555	4,100	▲ 455	▲ 10.0%
当期利益 [※]	2,432	2,300	▲ 132	▲ 5.4%
基本的1株当たり当期利益(円)	59.75	56.77	▲ 2.98	▲ 5.0%

※“当期利益”は、“親会社の所有者に帰属する当期利益”を記載しております。

サステナビリティへの取り組み

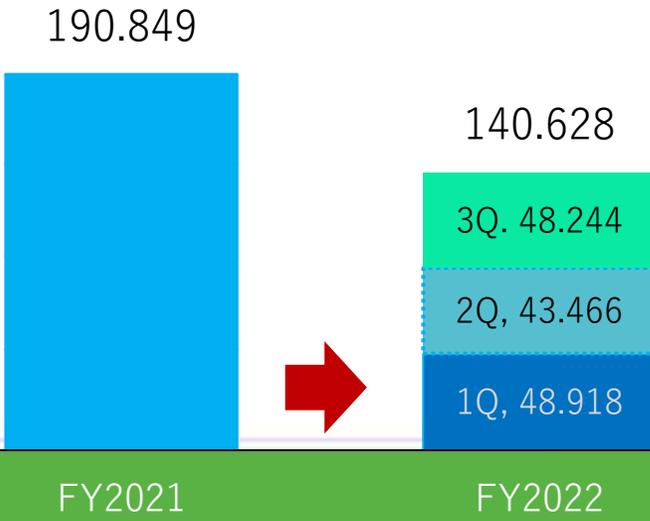
CO₂ 排出量削減目標



- 2030年までに、2019年比▲27.5%トンのCO₂削減
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す

182.923 TON CO ₂	166.276 TON CO ₂	190.849 TON CO ₂	169.204 TON CO ₂	164.631 TON CO ₂	160.058 TON CO ₂	155.485 TON CO ₂	150.911 TON CO ₂	146.338 TON CO ₂	141.765 TON CO ₂	137.192 TON CO ₂	132.619 TON CO ₂
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

当社グループ目標



ESG戦略

TRANSFORM
NEXT 2023

免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。